2026年11月13日

各　　位

会 社 名　GMOペイメントゲートウェイ株式会社
代表者名　代 表 取 締 役 社 長　相 浦 一 成
（コード：3769　東証プライム）
問合せ先　取 締 役 副 社 長　村 松　　竜
（ＴＥＬ．　０３－３４６４－０１８２）

配当方針の変更（配当性向の基準設定及びDOE指標の導入）に関するお知らせ

当社は、2026年11月13日開催の取締役会において、配当方針の変更に関し下記の通り決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

１．変更の理由

当社は、将来の事業展開と企業体質の強化のために必要な内部留保を継続すると共に、株主に対する安定した利益還元も継続していくことを経営の重要課題と考えております。
今般、株主還元に関する考え方をより明確にし、株主の皆様にとっての予見可能性を高めるとともに、資本効率を重視する当社の姿勢を示すため、配当性向の基準を定め、あわせてDOE（調整後親会社所有者帰属持分配当率）を下限指標として導入することといたしました。

２．変更の内容

変更前	変更後
当社は、将来の事業展開と企業体質の強化のために必要な内部留保を継続すると共に、株主に対する安定した利益還元も継続していくことを経営の重要課題と考えております。	当社は、将来の事業展開と企業体質の強化のために必要な内部留保を継続すると共に、株主に対する安定した利益還元も継続していくことを経営の重要課題と考えております。 この基本方針のもと、調整後利益（親会社の所有者に帰属する当期利益にキャッシュフローを伴うその他の包括利益を加算）に対する配当性向を55%以上とし、加えて、株主資本の効率的な活用を重視する観点から、DOE（調整後親会社所有者帰属持分配当率）10%を下限指標として設定いたします。 ※DOE（調整後親会社所有者帰属持分配当率）のベースとなる「親会社の所有者に帰属する持分」は、為替や市場環境の影響による変動の大きい「その他の資本の構成要素」を除外した調整後の数値を基に、期首・期末の平均値を用いて算定します。

３．今後の見通し

2027年９月期の配当より適用いたします。

以　上